

バス停タイムス

2012年11月21日

No.3

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

SMT本社と団体交渉をやりました！ 休日指定発表はGMの判断で直ちに変わってください！

新幹線大井基地で働く皆さん！おはようございます。JR東海労新幹線地本は11月16日、出向先会社の労働条件改善要求について新幹線メンテナンス東海株式会社（SMT）本社と団体交渉を開催しました。特に休日指定予定表は、全部発表することを強く迫りました。

解決のためにみんなで声を大きくあげましょう！

SMT大井第二事業所では休日指定発表が日勤が6日、夜勤が9日しか発表されず、それぞれ2日分の休日が何日に指定されるかわからず、生活設計がたてられないという問題がありました。これについて今回の団体交渉でSMT本社は「現状で問題ないと考えている。現場の実態に合わせて出している。職場の要望などで現場長の判断で変更した」「説明は点呼で数回にわたりおこなった」と答えました。

これに対して私たちは「実態に合っていない。生活設計がたたない。全部出して欲しいというのが職場全体の声である」と強く迫り「現場長の判断でいつでも変えられる」ということを確認しました。

皆さん！『GM（現場長）の判断で元のように全部発表してください！』と現場から声を大きくあげましょう！

作業本数の平準化を！手当の復活を！

第一事業所と第二事業所の作業本数の違いがありすぎる問題については「作業を完了するための人員は配置している。差があることは認識している」というものでした。また、対策はないのか質すと「頑張っていただけしかない」と無神経な回答をしました。

私たちは「社員の努力に対して配慮はないのか。以前は23本で仕切り手当を支給していたが復活できないのか」と迫りました。これに対して「現行のままで対処されたい」と何ら理解を示さない反応でしたが、私たちは「何らかの対策をするべきだ」とあらためて要求しました。

SMT本社は「頑張っていただけしかない」という無責任な姿勢をあらためて、社員の努力に誠意を持って応えるべきです。

欲しい日に使える年休のための要員確保を！

私たちは「年休取得に必要な要員の確保」を要求しました。回答は「必要な要員は配置している。昨年度の年休消化率は各職場とも90%を超えている」という実感のないものでした。これに対して、「欲しいところに入らない」「現場の実感とかけ離れている」など現状の問題点を伝え、年休は欲しい日に入るような要員確保をするよう強く求めました。

更衣ロッカーの改善など検討する！

更衣ロッカーが小さく制服などを家で管理している現状について改善を求めたところ「検討する」と回答しました。対策を期待しましょう！

また、熱中症対策については「塩熱サプリを用意している」「点呼で水分を十分取るように伝えている」というだけで、まったく不十分な回答に終始しました。私たちは、冷水器やスポットクーラーの増設など、必要な設備については会社の責任で準備するべきだと迫りました。

また、制服の洗濯についてもセキュリティ上及び衛生面を考え、会社が責任を持っておこなうようあらためて要求しました。

東京ターミナル・担務変更申し出れば検討する！

東京ターミナル事業所関係については、出向中組合員の担当業務変更については「当該社員が、現場の管理者に担当変更の希望を申し出れば検討することとなる」との回答をえました。

要員不足については「現場労働者の知恵でなんとか作業をこなしている現状だ」「業務量が減ったという事でもないのに25名体制に減ったということに承服できない。要員減になった根拠を改めて示すように」と質したところSMT本社は、調査し報告することを了解しました。

また、7月に第7ホーム作業場で熱中症が発生し、対策としてスポットクーラーを設置したが、まだ設置していない第8・9ホームへの設置を急ぐように迫りました。

SEKとの団体交渉は本日！

私たちは新幹線エンジニアリング株式会社（SEK）に対しても出向先の労働条件改善を申し入れています。そして、本日、団体交渉を開催します。要求解決に向けてみんなで声を出していきましょう！